

刊夕日一卅月七

常磐母日新聞

定価 一部全紙一ヶ月五拾五圓 郵費五圓
 廣告料五拾五圓 一行五拾五圓
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常磐母日新聞社
 印刷所 常磐母日新聞社
 印刷部 常磐母日新聞社



婦人科領域に於ける疼痛

安齋醫院産婦人科
 醫學士 黒澤 廣

五、子宮外妊娠の破裂
 子宮外妊娠、殊に卵管妊娠であつて破裂を起した時には、突然其の破裂した側に激痛を感じ、猶疼痛の外に内出血を起して急性貧血と同時に卒倒、失神、嘔吐頻細脈、呼吸促進等を起す出血は内出血と同時に、若しくは少し遅れて子宮出血を見るものである。此の疼痛は數回繰り返す事があり、多くは陣痛様のものがある。腹腔妊娠の時には

右側卵管にんしん破裂の場合に蟲様突起炎と間違われる事があるから特に注意すべきである。
 六、卵巣腫瘍の捻転
 卵巣に發生せる腫瘍が、或る程度以上に捻転が起ると腹痛を起す。若し捻転が極めて除々に起ると不快感が或ひは、軽度の疼痛に止まるが、捻転が突然に起ると急に激烈な腹痛を其の患側に感ずる。此の腹痛と同時に發熱、悪心、嘔吐を起し急性腹膜炎の如き症状を呈する。疼痛發作は只一回しかない事と數回繰り返す事があつて其の疼痛持續も色々である。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 【朝】味噌汁：細いんげん 小付 こんぶつくだ
 煮
 【晝】冷しそうめん 割醬 油 薬味 小井 芋
 つや煮
 【晚】天ぶら いか えび 大根 生薑おろし 酢の物 いかの残り 肉 胡うりもみ甘酢

胎兒が腹腔中に生きて居る間は、其の胎動の度に軽い疼痛、不快感を覺えるものである。
 おどり 島田 忠夫
 胡瓜 なすびに 西瓜がおどる 月の照る夜さはたけの踊り 川の瀬 河童も見てる

しづく垂らして 堤防のうへで 胡瓜かくれる 河童が怖い かぼちや 茄子がころげておどる
 庭風 呂

雨のやうだな 桑ばたけ 桑に 夜かせがわたるおと 晝のやうだな すわちよ鳴く 庭をてらして 山の月 田草とりして かゆい背 庭のおふろて 洗ふてる 父を憶ふ
 熊原 立子

ははそはの母が唱ふる 念佛のこゑの悲しさに おもひに耽るひと時の しづこころを崩れたり 憂ひは深きわがころろ あゝいつの日か消えぬべみ

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます
 公債、債券 質物一般
三井質店
 平・四 電六〇六番

暑中御伺
 時節柄宣傳には……
是非! チンドンヤを
 御利用下さい
 委細は 平町仲間町六九
丸屋春日亭米之

具雨とケヨヒ
 敷島のコヨケ如何にと人とおぼ

日	除	具雨
店舖用、事務所用 御座敷用、其ノ他		トラック用、馬車用シート 作業用、各種雨衣

 朝日夕日に便利なるかな
 除日・覆雨諸・幕天山登
敷島トントン商店
 目丁六町

平町南町五二一
根本産科醫院
 (手術室完備 入院隨時)
 根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

弊院儀今般都合により元平郵便裏三丁目裏川岸通●に移轉仕候從前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候
 七月二十五日
 田町五番地
明雲堂眼科醫院
 新妻幸之助
 電六六九

美味……
 新鮮……
 ベーカリー
東京堂のパン
 是非御試食を!
 平橋樋小路
 電一〇八番
 弟徒入用

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

耳鼻咽喉科専門
 病室完備 自炊便有
 平町 (電話六九番)
山内醫院
 醫學士 山内 亨 吉

押し寄せた濱の人波

白砂も没する超氾濫

微笑む黒字の國鐵

地方人の足一齊總動員

丑の日の大當り

天候に恵れた昨日三十日の丑の日

は本年最初の大量人出で地方各海岸を埋めたがこの爲に既記の如く臨時列車ガソリン車の二臺運結その他の運送全能力を發揮した平驛の乗降客は乗車人員が千六百二十二二人、降車は千六百三十六人で平常の倍以上に達して居り殊に昨年同日の乗車數九百四十九人に比較すると本年の乗車人は六百七十三人と増加して旅客收入も前年より二百十六圓八十六錢と黒字成績を挙げ、街の足、乗合自動も汗だく、の稼ぎを見せたがそれでも足りず貸切車迄が總動員

天候打診

酷暑の峠下るか

判つきりせぬ

員の超人出振りで賑つた

た卅日土用の丑の日の最高温度は卅一度(華氏で八十度五)だった、もう暑さも峠を越したのか、測候所に伺ひを立てると「さうとも限りません、また暑い日が来るかも知れません」との返事、測候所でもハツキリ暑くなるのは明言しないし例年七月の今日あたりが最高だからこしも此處ら最高として下り坂に入るかも知れぬ

炎熱の濱に描く

兒童の健康聚樂

第二八百餘名の女兒参加

既報平第二校の豊間村海濱海岸に於ける夏季聚樂は明後日の二日間煙花台圖で午前五時半片倉製糸場前集合自動車を出發催されるが海岸に於ける行事は海水浴ラヂオ操、磯遊び、日光浴、水泳

茶種採培

農事傳習講演

神谷農事分場の農事傳習會は來月二日午前九時から開

夏季講習

夫々出席

第三訓導四氏

申請を行つた
平第三小學校の新家増井、長谷川、蛭田の四訓導は暑中休暇を利用して左記講習會出席の爲にそれ、今日廿一日出發した

き茶種採培に關し、本場の田坂修一郎技師の講演ある

災害補助

交附金

豊間漁港申請

豊間村築港防波堤の過般の暴風雨で破損した個所の災害修築工事は此の程完了、之が中間補助金千圓の交附

武術大會

順序決定

郷軍精神の華

明日平外二ヶ所で

在郷軍人石城聯合分會は今日三十一日午前九時から平青年學校に役員會を開き既報の如く明日一日午前八時から平商雨天體操場第一講堂及び神谷射撃場の三ヶ所に開催される第九回武術大會に關し種々打合せをしたが大體の順序は左の如く軍事思想普及の折柄盛會を豫想されてゐる

及準備 試合開始 射撃 試合終了 射撃試合所見 開示 成績發表 賞狀優 騰旗 優勝杯並賞品後與 支部大會出場代表選手告 知 福島支部長訓示 聯合分會長訓示 來賓祝辭 帝國在郷軍人歌合唱 萬才三唱 閉會 解散 尙射撃は正午、銃劍術、軍刀術は午後一時終了優勝杯の授與式は三競技共午後三時から平第一校講堂で行ふ豫定である

平遞友一平俱

縣下 樂部に大勝す 一二 等局野球大會に出陣する平遞友チームは昨日三十日午後三時から第三小學校で平俱樂部と練習試合を行つたが

友	1	0	1	2	0	0	3	0	5
平	1	2	3	4	5	6	7	8	9
俱	0	0	0	0	0	0	1	0	0
									1

取引二百五十萬圓の

小名濱町營魚市場

建設工事着々進捗

小名濱町では内務省築港事務所表手海岸約三千坪を埋立て同所へ町營魚市場を建設する事になつて目下盛んに坪立工事を進めてをり九月下旬までには上盛工事を完成するが引續き市場建設にとりかゝり明年度から堂々たるコンクリートの建築物の一ヶ年二百五十萬圓の海の寶の取引をなす豫定である

學校建築

飯野村で協議

飯野村では同村小學校増改築に關し明八月一日午前九

門 專
産 婦 人 科
花 柳 病 科
◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞 白土會 入會隨時 電話一二七番

時から役場で村會議員職務委員が協議を行ふ

平町防護委員會 平町防護委員會は來月二日午前八時から會議室に開き防護團の細則協議を行ふ

平町人事

回出生

△四町目六 當時小名濱町

字中明神町 關内仁平氏

長女久子さん

回婚 姻

△仲間町六二 菊地重勝氏

(三三) 同町大兼チカさん (三五)

回死亡

△播磨小路四 廣邊キミヨさん(二〇)

雑沓の時間を狙ひ

夜の街にスリ横行

空箱から墓口が續々出る

簡単服・軽装御用心

平町納涼異変

二十九日午後零時半頃平町三丁目三井呉服店方女中が据風呂の焚木を取りに同家横の道路に置いた呉服の空箱を動かした處、中から

墓口財布 等取ませて七個出て来たので吃驚、主人に告げたので調べて見ると中味は何れも空で深谷と印した
婦人の名 刺が出て來たので平署に届け出たが最近同店では店内で二、三回に亘り懐中物をすられた客があり又墓口が出た場所は夏季中野菜市場が出来て婦人連が雑沓してゐるのでそれ等の婦人がすられたものらしく夏季を狙つてスリが入り込んで居る模様であるため平署では目下警戒中であるが被害者は何れも簡單着の輕装して居る際スリされてゐるのが多い

土工二人を殺した

俺は凄いな!

易者が威張つて豚箱へ

岩手縣上閉伊郡釜石町生當時住所不定易者佐々木仁右工門(三)は昨三十日上小川村大字上小川地内で泥酔通行中同村大橋金吉(三)に乞喰野郎と罵倒されたのを憤慨、口論から大立廻りにならんとしたか酒五合を買つて仲直りの酒宴中、所持した漁撈用の鋭利な小刀を見せびらかしながら俺は北海道の土工部屋で二人を殺して正當防衛で七ヶ月の懲役

資金造成

映畫大會

江名隣保館開催

江名町隣保館では來月初旬小名濱町に縣主催で開催される社會事業講習會の參觀事業として指定されたため

先妻の判を使ひ

七十圓騙り取る

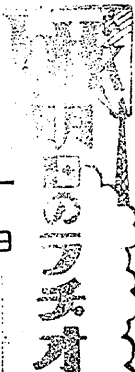
發覺して懲役六月言渡

既報先妻の印を盗用玄米の賣買承諾證を偽造約七十圓を詐取した宮城縣名取郡玉浦生れ目下小名濱町字本町漁夫照井數馬(三)に係る文書偽造行使詐欺事件の公判は今三十一日午前十時から平區で中島判事係り清田檢事立會の下に開廷檢事から懲役八ヶ月を求刑されたが判事から即決懲役六ヶ月を行ふ

發度は恐い

線路を通行して御目玉

勿來町大字四澤緑川吉次方職工岩崎昇(三)は去る六月三十日植田一勿來兩驛間の鐵道線路地内に立ち入り鐵道



今晚は南の風晴驟雨模様明日は南の風曇、後時々晴

今晚の部

後六、〇〇 音楽物語「骸骨の踊」大阪放送童話研究會
後六、二五 講演「ラヂオ體操の體験を語る」大山七二郎他
後七、三〇 帝國聯合艦隊歡迎の夕「歡迎の辭」平野臺灣總督府總務長官答辭野村直邦 臺灣音樂から行ふ

共濟病院

近く開く

草薊學士が理想的經營

警城共濟病院は經濟難に陥つて石山院長が投げ出して以來折角の大病院を此儘立腐れにして終ふのも惜しいと種々再起の方法を巡らす

叩起して連れ出し

商賣敵を散々殴る

小名濱町字橋本馬目自動車部運轉手柄木縣那須郡那須野町生笠井勝(三)は去る二十三日午三前時頃豫て商賣敵の同町警城海岸軌道會社宿直室に就寝中の同會社運轉手片寄竹次郎(三)をたき起して外部に連れ出し俺の自動車の硝子を破損したのはお前だらうと矢庭に鐵拳で殴打、顔面に全治二

前六、三〇 速成下講座 登張信一郎 語門關「神保朝の修養」無前七、四一 中等學校復習の時間「動物」佐藤準夫前八、一〇 小學生おさらひ時間「算術」矢野大治郎前八、四〇 通俗科學「雲の種々相」野口篤美前九、一〇 家庭講座「植物採集やこん蟲採集をさせる方へ」和田精一後九、〇五 輕音樂 ナガザワ・アンド・ピズ・オーケストラ
後九、三〇 國民歌謠本社編「起てよ若人」川崎豊大阪

音樂學落生徒：挑谷中繼後〇五〇 都市對抗野球神宮球場中繼後六、〇〇 童話劇「夏の遊び」水、金魚、砂、大阪童話劇協會
後六、二五 趣味講座「史蹟巡り有珠善光寺」牧野信之助(札幌)
後七、三〇 涼みばなし「折の打ち方いろく」實澤村岡鬼太郎
後八、〇〇 オリジナルピク序曲「獨國際放送ドイツ」女舞衣「豊竹駒大夫」後九、〇〇 時事解説「スベインの内亂に就いて」與謝野秀

平職案紹介所報告

人を求める方

- △出前持 十五：二十才迄 給料五圓
- △同 二十二才 迄給五圓 外仕着
- △柏 二十五才 迄給十圓
- △女中 廿五才迄 給三圓 外テップ
- △牛乳配達 二十才 迄給五圓
- ◇ 職を求める方
- △石版印刷工 二十五才 高卒
- △藥品職工 二十一才 中卒
- △西洋洗濯 三十一才 尋卒
- △コック職工 二十六才同
- △コック 二十四才 同
- △サイドカー運轉手 三十才 同
- △通信工手 二十三才 高卒

繞る瓦解の謎々

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(繪)



一八五 葉とむしろ

長兵衛は自分のそばにあるは何者かと佐兵衛のことを官軍の兵士に問はれて困つたがその時佐兵衛はその兵十むかひ

佐「何んぞわたしに御用がございませうか」

○「さうまはなんだ、何者だ」

と横柄に聞いた、もとより氣の短い佐兵衛のこと、これが疍にさばり

佐「お前さんがたは何んだね」

○「何んだとは何んだ」
佐「イヤさ槍を持つて肩へ錦帛をつけてえらさうな顔をして家中をデロ／＼見まわしてゐるが押込みではなからう、何んだねお前がたは」

○「だまれ、我々は長州の兵である」

佐「あゝ、それでは官軍様か戦ひに勝つたで景氣がいいのう」

○「そんなこと何うでもよろしい、ささまは何んだ」
佐「わしは湯屋の主人で下谷にゐる越前屋佐兵衛といふのだ、今日の戦ひに家は焼かれてしまひ箸も持たぬ俄乞食になりそこでこの小

原さんとは長い間懇意にしてゐますからこゝへ立ち退いて來ましたよ」

○「ウーム湯屋の主人か」

佐「さうでございます、何を錢湯のことについて聞く



ことがあつて來なすつたか湯ばかりは素人は出來ねえ

○「だまれ、錢湯をひらくために參つたわけではな

い、落武者を搜索するために參つたものだ、殊に輪王寺の官様がこの邊におし

ひなると聞きそれを取りしらべるために參つた」
佐「左様でございますか、それは御苦勞でございますが、しかし官様のやうな尊い方はこの家にお出でではなかつた、外をおたづねなさいまし」

○「ウーム、これ長兵衛、母家のうしろの方に物置のやうな小屋があるがあれは何んだ」

問はれて長兵衛がハツとおどろいた、この小屋の内には宮様はじめお付きの僧徒が隠れてゐる、しかし答

ます、これをさけるために地を高くして小屋をこしらへておきました水の出來し

たときはこれに避難いたします、それで水家と申します

○「さうか、平常には何を

入れておく」

長「物置につかつて居ります、むしろや農具を入れて置きます」

○「さうか、一應しらべるから案内いたせ」

いはれた長兵衛が困りました、するとかたはらに

た佐兵衛が

佐「お檢めくださいまし小

家の中は今長兵衛さんのい

つた通りわらと道具ばかり

でございますし、わしは折々此の家へ來ますことよく

何があるといふこともよく

知つて居ります、長兵衛さん案内してやんなせ、え落人でもかこまつて置くなど

といふ疑ひをうけるも心苦しい見せてやんなせえ」
長「何卒こちらへお出でくださいまし」

長兵衛は佐兵衛にすゝめられてふらつく足を踏みしめながら官軍を案内して母

家のうしろの小屋に來た、その時佐兵衛もついて來た

○「中を御覽なさいまし薬とむしろばかりでございます、怪しいものは居りませんよ」

とことさらに大きな聲で

申した、これはかくれてゐる人々に知らせるため

です。

店主が店員

を連れて行

かれる

正シイ食堂

正シイ喫茶

正シイ酒場

平・田町

レストサロン

電三五二番

上田病院

平町南町
電話二二九番

井坂醫院

平町田町
電話五五九番



平町田町通電話六五六番

玉屋洋品店

夜間

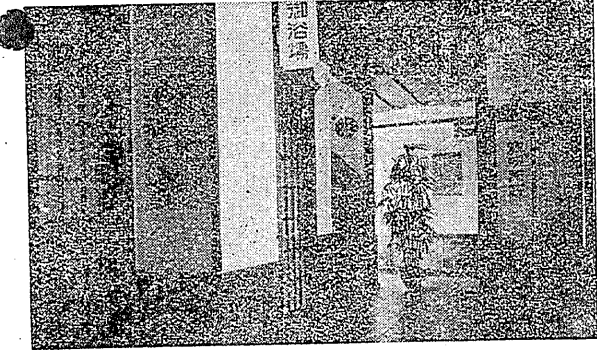
胃腸性病性

内科 皮膚科
性病科 花柳病科
胃腸病科

専門

松村胃腸性病性醫院

(番〇七一町南町平)



小瀧へ!!

- ◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
- ◆日歸浴席料 .20
- ◆自炊料 .50-.80 (入湯料・室料 夜具料一切)
- ◆料理一定食 .80 1.00 1.50 (その他一品料理洋食)
- ◆湯 効 神経痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)
- ◆諸設 備 撞球臺、高級ラデオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水洗式便所、小動物園、タクシー部、御子様運動器具
- ◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉) 蜂蜜羊かん

● 女中数名入用 ●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉

瀧の湯

御旅館 瀧の湯
御自炊

電話 (小名濱) 103番